

令和2年度

(2020年度)

事業報告書

自 令和 2年4月 1日

至 令和 3年3月31日

公益財団法人 ノーマライゼーション住宅財団

令和2年度 事業報告書

【令和2年度の環境認識】

当財団は、平成元年10月設立後32年目を迎え公益移行後9年目が終了致しました。2020年の日本のおもなニュースとしては、新型コロナウイルス感染拡大を受け、政府は、緊急事態宣言を発令し、都道府県は市民に外出自粛を呼びかけ幅広い業種に休業を要請。マスクやアルコール消毒液などに品薄が続き、病院では入院病床や医療物資の不足などが問題となりました。又、夏に行われるはずだった東京五輪・パラリンピックは1年の延長。安倍総理が辞任を表明し、新たに菅総理新内閣が発足しました。

【基本方針】

当財団は、「すべての人が共に暮らし共に生きることがノーマル（正常）である」というノーマライゼーションの理念に基づき、高齢者や障がい者が安全で安心して暮らせる住生活環境の整備・向上を通して、すべての人が生きがいをもって生活できる社会造りと社会福祉の増進に寄与することを目的とする。

〈事業報告〉

I. 福祉住宅支援事業（公益目的事業1）

（1）助成金による福祉住宅建築支援

高齢者や障がい者が安心して、快適に暮らすことのできる福祉住宅及び福祉小規模集合住宅（以下「福祉住宅」という）の向上・普及を目指す32年目の支援事業を継続し、取り組みを行いました。令和2年度の福祉住宅の建築助成として、新築及びリフォーム工事を施工した建築主を対象に建築助成（バリアフリー）の応募を受け付け建築助成事業に新築3件・リフォームが9件、福祉小規模集合住宅が新築1件で合計13件の応募申請がありました。菊地審査委員長をはじめとして、大阪理事、牧野理事、小西評議員の他、外部審査委員4名を含む計8名の有識者による審査委員会を実施し、当財団建築助成選考基準に則り、厳正な審査の結果、予算総額300万円うち助成金201万円（累計8,093万円）を3月に支給致しました。

（2）情報誌「ふれあい」の刊行

情報誌「ふれあい」は、事業の一環として毎年継続し、福祉住宅助成建築主へ直接取材をさせて頂き、日常生活の現状や介護面に対して、新築の福祉住宅やバリアフリーにリフォームされた住宅を参考に実例を数多く掲載、毎年1回の発行をしています。

情報誌「ふれあい」は賛助会員の皆様をはじめ、地方自治体や社会福祉協議会、北海道

難病連、教育研究機関や福祉団体等の関係先に幅広く無料配布させて頂き、また、講演会やセミナーでの参考資料として、あるいは病院・リハビリテーションの理学療法士の方々に資料として提供させて頂き数多くの皆様に役立っております。しかし、残念ながら今年度は、全国各地で新型コロナウイルス感染拡大の状況などを鑑み、福祉住宅の建築主や高齢者福祉施設などの取材が出来ない状況化で、情報誌「ふれあい」の制作発行が出来ませんでした。

また、他の活動としては、毎月1回コミュニティ放送のFMアップルの「バリアフリートーク」に出演し、福祉住宅をバリアフリーにリフォームに考えている視聴者の方々にリスナープレゼントとして「ふれあい総集編Ⅱ」を進呈し、幅広く活用しております。

Ⅱ. ノーマライゼーション啓発事業（公益目的事業2）

（1）小中学生による「安全・快適アイデア」コンテストの実施

令和2年度で25回目となるコンテストは、高齢者や障がい者が家庭はもとより外出先においても、快適な環境で生活ができることを目的として、全道の小中学生児童を対象に応募を受け付けたところ、小学校の部では8校で応募数178名、中学校の部では13校397名の応募があり、個人での応募者も含め合計575名（累計13,758名）応募者数の参加となりました。昨年よりは、総応募件数が若干減ったものの中中学生からは数多い応募がありました。クラス担当の先生や美術担当の先生により、協力して頂く事が特に必要と感じております。

応募件数の減少として、新型コロナの感染拡大防止のため、全国各地の小中学校が休校要請となり授業時間の減少も影響もあるのではないかと推測します。また、相変わらず少子高齢化が進み、小・中学校の統合や廃校で、児童生徒数がかなり少なくなっている状況です。全道の小・中学校には、新学期が始まる時期にポスター・応募要項等が届く様一斉に郵送を行い、学校長・新任担当の先生方に協力をお願いしております。

令和2年度も審査委員長の大阪理事に2日間かけて第一審査を行って頂き、伊藤評議員の他、毎回審査をお願いしている菊地審査員はじめ外部審査委員4名を含む、計7名の有識者で審査委員会を実施。「安全・快適アイデア」コンテストの選考審査基準に則り、厳正な審査の結果、57名の児童に各賞を決定いたしました。

尚、受賞された小・中学生児童の作品を札幌地下街「オーロラコーナー」で、3日間の展示を行い、応募頂いた全小中学校に作品の返還と共に結果発表報告を行い、より多くの児童に興味をもって頂き、また、多くの人に啓発事業を知って頂くことが出来ました。当財団ホームページの更新と広報誌「ウィズライフ」による公開、北海道新聞での新聞記事等に掲載をして頂きました。

（2）広報誌「ウィズライフ（共に生きる）」の刊行

ノーマライゼーションを推進している人の対談やインタビューの他、福祉機器や設備な

ど役立つ情報を紹介する広報誌を年2回、計7,000部(2回×3,500部)発行しました。当財団の冊子「ふれあい」と同様、賛助会員の皆様をはじめ、地方自治体や社会福祉協議会、北海道難病連、教育研究機関や福祉団体等の関係先に幅広く配布を行い、また、講演会での資料として参加者皆様に数多く役立つことができました。

令和2年度も前年度に引き続き「ウィズライフ(共に生きる)第51号～第52号」で、「我らサポーター」のページに当財団の各役員理事に登場して頂き、日常の生活や業務などの紹介をしております。ウィズライフ(共に生きる)第52号のテーマは「コロナ禍を生き抜く力」福祉施設社会福祉法人「わらしべ会」への取材。新型コロナウイルス感染下にあつての福祉に携わる方々の情報などを掲載、ノーマライゼーションの実践・支援をされている方など、福祉事情の関連役立つ情報等を紹介しています。

また、「明るいフクシ探検記」のページでは牧野理事が「ユニバーサルマナー検定」を通して啓蒙普及を行っている状況をイラストと共に掲載し、とても分かりやすいレポートとなっています。

(3) 福祉事情の視察研修

当財団が設立以来例年実施していた福祉視察研修は、世界的に拡大された新型コロナウイルス感染下の状況で今年度は中止せざるを得ないと判断し、残念ながら視察研修を取りやめました。

また、来年度は世の中の新型コロナウイルス感染状況を考え、あらためて検討致します。

Ⅲ. 拠出金・協賛金・セミナー事業

(福祉関連事業への取り組み)

諸団体と共に社会福祉に取り組む一環として、例年同様、令和2年度は日本赤十字社への寄付をはじめ、国境なき医師団、北海道難病連への募金、北海道盲導犬協会に寄付など継続すると共に、北海道作業療法学会学術大会への広告支援等行いました。

例年道内各地で行われている北海道新聞社主催の「マイホーム教室」では、川本理事に福祉住宅や住環境のあり方などについて講演を頂いているのですが、同じく残念ながらコロナ禍の影響で各イベントやセミナーも中止となりました。

Ⅳ. その他

福祉住宅支援事業・ノーマライゼーション啓発事業を推進するため、公共の場所でのポスターの掲示や一般紙、地方紙、業界紙による紹介記事の掲載に努めるとともに、コミュニティラジオ「FMアップル」に出演し当財団の冊子を参考に「ノーマライゼーション住宅財団の事業について」紹介アピールしております。

V. 賛助会員及び寄付について

【令和2年度 賛助会員状況】

*令和3年3月末日現在 [個人会員 122名・法人会員 48社 計170名]

《 理事会 》

* 第1回 定時理事会の書面決議【新型コロナウイルス感染症拡大防止につき】

理事会の決議があったものとみなされた事項の内容

議案内容

- (1) 決議事項 第1号議案 平成31年度事業報告の承認について
 第2号議案 平成31年度決算報告及び監査報告の承認について
- (2) 提案事項 *平成2年度 定時評議員会の開催招集の件
 理事会の決議があったものとみなされた日
 令和2年4月30日(火曜日)

* 第2回 定時理事会の書面決議【新型コロナウイルス感染症拡大防止につき】

理事会の決議があったものとみなされた事項の内容

議案内容

- (1) 提案事項
 *令和2年度 評議員会の招集について
- (2) 決議事項
 第1号議案 令和2年度(令和2年4月1日から令和3年3月31日)
 補正収支予算について
 第2号議案 令和3年度 事業計画及び収支予算について
 第3号議案 令和3年度 理事会・評議員会の招集について

(提案事項)

決議省略の方法による評議員会の招集について

- (1) 日時及び場所 定款21条により決議省略(書面決議)による方法

(決議事項)

- 第1号議案 令和2年度(令和2年4月1日から令和3年3月31日)
 補正収支予算
第2号議案 令和3年度 事業計画及び収支予算

【報告事項】

*理事長・副理事長の職務の執行の状況の報告

理事会の決議があったものとみなされた日

令和3年3月10日(火曜日)

《 評議員会 》

* 第1回 定時評議員会の書面決議【新型コロナウイルス感染症拡大防止につき】

評議員会の決議があったものとみなされた事項の内容

議案内容

(1) 提案事項

* 令和2年度定時評議員会の決議省略（書面の同意）の方法による評議員の招集について

(2) 決議事項

第1号議案 平成31年度 事業報告の承認に関する件

第2号議案 平成31年度 決算報告及び監査報告の承認に関する件

第3号議案 評議員10名及び監事2名の任期満了に伴う改選に関する件
理事会の決議があったものとみなされた日
令和2年6月26日(金曜日)

* 第2回 定時評議員会の書面決議【新型コロナウイルス感染症拡大防止につき】

評議員会の決議があったものとみなされた事項の内容

議案

(1) 提案事項

* 決議省略の方法による評議員会の招集について

(2) 決議事項

第1号議案 令和2年度（令和2年4月1日から令和3年3月31日）
補正収支予算について

第2号議案 令和3年度 事業計画及び収支予算についての件

(3) 報告事項

* 理事長・副理事長の職務の執行の状況報告

理事会の決議があったものとみなされた日

令和3年3月22日(月曜日)

以上